

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 6 月 8 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2016～2019

課題番号：16H05662

研究課題名(和文) ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考

研究課題名(英文) Rethinking the process of Islamization of Java through analyses of Javanese texts

研究代表者

菅原 由美 (Sugahara, Yumi)

大阪大学・言語文化研究科(言語社会専攻、日本語・日本文化専攻)・准教授

研究者番号：80376821

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 9,800,000円

研究成果の概要(和文)：ジャワ地域(インドネシア、ジャワ島中部・東部)のイスラーム化は14世紀頃に始まり、それ以降現代まで漸進的に浸透した。ジャワのイスラーム化はスーフィズムの広まりによって進んだとこれまで説明されてきたが、実際には史料的限界等の理由から十分には議論されてはこなかった。本研究の目的は、仏教・ヒンドゥー教王国の歴史が古く、その文化が深く根付いていたジャワで、なぜどのようにしてイスラーム化が起こったのかを、14世紀から19世紀のジャワ語史資料及び関連資料に基づいて、分析することである。また、特に南アジアのイスラーム化との関連において、上述の問題を考える。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまでジャワにイスラームが浸透することが可能であったとする主要な理由は、最初に伝わったとされるイスラームが神秘主義であり、これがイスラーム以前にジャワに根付いていた宗教との親和性が高かったためであると説明されてきた。しかし、ジャワにイスラーム新興国家が誕生し、イスラーム聖者たちが活動を展開していた16世紀の時点ですでに、難解なイブン・アラビー批判がジャワの宗教者(聖者)たちによって議論され、イスラーム神秘主義というよりも、道徳的神学が重要であったことがわかった。このイスラーム聖者による議論と国家や口承伝統が残す聖者像との相違が意味するものをさらに考察する必要がある。

研究成果の概要(英文)：Java has been gradually Islamized since the 14th century. It is assumed that the process was made easy by the spread of Sufism, but adequate discussion on this topic is lacking because of the limited availability of historical sources. The purpose of the present project is to discuss how Islamization occurred after Java went through a long history of Buddhist and Hindu kingdoms, by analyzing Javanese documents written during the 14th to 19th centuries and by making comparisons with Islamization in South Asia.

研究分野：東南アジア史、イスラーム史

キーワード：イスラーム 写本 インド化 伝承 神秘主義

1. 研究開始当初の背景

ジャワ語(古ジャワ語、現代ジャワ語)は東南アジア島嶼部において最も長い歴史と最も多い母語話者数を誇り、言語、宗教、文化的変遷の非常に豊富な文字史料が残されている言語であり、オランダ植民地時代から中心的研究対象であった。これまで各国の研究者により、多くの代表的ジャワ語写本や碑文が、ローマ字翻字または翻訳され、出版されてきている。しかし、歴史史料としての「事実」の信憑性の疑義が問題となり、戦後、ジャワ語文献は「文学」として扱われるようになり、歴史研究から遠ざけられた。さらに、ジャワ語は世界有数の母語話者数を誇るにもかかわらず、インドネシアの国語とはならなかった。その結果、今日、ジャワ語・ジャワ語文献を対象とする研究者は世界的に危機的な数に減少している。

申請者はジャワ語文献研究の継続発展のために、2013年より東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同利用・共同研究課題として、「ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容」を立ち上げ、ジャワ語(古ジャワ語、現代ジャワ語)文献のコンコーダンスの作成、ジャワ語史資料の出版(Javanese Studies Series)、国際シンポジウムの開催を介しての国際研究者ネットワークの結成など、ジャワ語文献研究状況の改善を進めている。本研究はそうしたインフラとネットワークを利用して行った。

本研究のメインテーマであるイスラーム化については、特にC.ギアツによる『ジャワの宗教』(1960)以降、「前イスラーム」的要素を強く残すジャワのイスラーム化が注目され、「ジャワ的なもの」の追究に焦点が置かれたために、イスラーム化の過程には研究者の目は向かなかった。イスラーム流入前にヒンドゥー・仏教王国が長期にわたり支配してきたジャワが、なぜどのようにしてイスラーム化したのかということについて十分な検証はなされず、ジャワのイスラーム化は、スーフイズム(神秘主義)の広まりによって進んだと説明されてきているが、実際には上述のジャワ語文献に対する史料観等の理由から十分には議論されてはこなかった。

2. 研究の目的

ジャワへのイスラーム流入は14世紀頃から見え始め、ジャワでは長い歴史の変遷を経てイスラーム化が進行した。本研究の目的は、仏教・ヒンドゥー教王国の歴史が古く、その文化が深く根付いていたジャワで、なぜどのようにしてイスラーム化が起こったのかを、14～19世紀のジャワ語史資料及び関連資料(遺跡や口承伝統)に基づいて、分析することである。ジャワにおける宗教の変容過程をより正確に把握するために、時代を区分してジャワ語文献を比較検討する。また、特に南アジアのイスラーム化との関連において、上述の問題を考える。

3. 研究の方法

- ①ジャワ語写本資料調査：インドネシア、オランダ、イギリスの図書館・博物館において、関連する写本の調査
- ②イスラーム関連遺構及び口承伝統調査：中部ジャワ及び北海岸において、イスラーム流入期の遺跡及び周辺の口承伝統の調査
- ③ジャワ語コンコーダンスの充実と利用：写本翻字資料の追加とコンコーダンスを利用した研究の推進
- ④国内研究会及び国際シンポジウムの開催：国内における基本的情報共有公開のための研究会と研究成果の国際的成果公開を目的とした国際シンポジウムの開催

A. 流入期(14～16世紀)

* 流入期に関しては、利用可能な史資料が比較的希少であるため、様々な資料を利用する。

a. 民間写本(聖者伝、法学書)

- ・ G.W.Drewes により出版されている3点の16世紀のイスラーム流入初期写本
- ・ 「聖者会議」の写本群

b. 宮廷写本(既刊本及び写本)

- 調査地：ライデン図書館、インドネシア大学文学部、インドネシア国立図書館
- ・ Serat Kandha などの16世紀のジャワの王国の状況を伝えると言われる写本

c. 碑文・遺構

調査地：ジャワ

- ・ 中部ジャワ及び北海岸側のイスラーム関連遺構について、碑文、イスラーム前遺跡との比較、及び地理環境の調査

d. 口承伝統

調査地：ジャワ

- ・ cの調査地周辺における口承伝統収集、ローカル出版物収集

B. 受容期(17～18世紀)

a. 宮廷写本(既刊本)

・ジャワ王国記 Babad Tanah Jawi の分析（「聖者会議」写本や Serat Kandha との比較）

調査地：ライデン図書館

b.民間写本（タリーカ系譜）

史資料調査地：ライデン図書館、ソノブドヨ図書館

・王宮及び民間に保管されているイスラーム神秘主義の系譜

c.民間写本（非イスラーム系写本）

・Kidung Subrata などイスラーム化を拒否するグループが書いた写本

調査地：インドネシア国立図書館

C.展開期（19世紀）

a.宮廷写本

調査地：インドネシア国立図書館

・ジョグジャカルタ及びスラカルタの宮廷写本

b.民間写本

調査地：ライデン図書館

4. 研究成果

・2018年6月30日 - 7月1日に大阪大学において本研究課題をテーマとした国際シンポジウム Transformation of Religion as Reflected in Javanese Texts (2) Rethinking of the Process of Islamization を開催した。インドネシアから3名、オランダから2名、ドイツから1名、イギリスから1名、オーストラリアから2名、計9名招聘した（発表者およびコメンテーター）。内、3名は本科研の海外共同研究者である。国内からも、本研究課題の研究分担者・連携研究者以外に、様々なイスラーム地域研究者にもディスカッサントとして参加してもらった。シンポジウムでは、ジャワ最古のイスラーム宗教問答書、神秘主義詩歌、ジャワにおける聖人の伝承文学、他のイスラーム世界の聖者伝承文学のジャワ流入などの分析について発表がなされ、ジャワ・イスラーム化初期（16 - 17世紀）のアクターたちについての議論がかわされた。（<http://www.aa.tufs.ac.jp/en/projects/jrp/jrp224>）

・3年間の研究成果報告として、2019年7月にオランダのライデンで開催されたアジア研究者国際会議、11th International Convention of Asia Scholars (ICAS11) に参加し、本科研研究分担者、連携研究者、及び海外共同研究者とともに、パネル発表“Rethinking the Process of Islamization: Transformation of Religion as Reflected in Javanese Texts”をおこなった。代表者菅原由美は16世紀のジャワ北海岸の宗教問答書にみるイスラーム神学と神秘主義について、青山亨はジャワとマレーの王国年代記に見る国家とイスラームの関係性について、海外共同研究者の Edwin Wieringa はジャワにおける聖人伝承に残る疑問について、同じく海外共同研究者の Willem van der Molen はイスラーム期の物語に見られるヒンドゥー的要素について発表をおこなった。このパネルによって、これまで史料的限界ゆえに、詳細な検討がなされてこなかったジャワのイスラーム化初期（16-17世紀）に活躍したアクターたちについて再検討がなされた。この発表は、上記国際シンポジウム “Transformation of Religion as Reflected in Javanese Texts (2)“Rethinking the Process of Islamization”の成果とともに、Javanese Studies Series（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所出版）として出版する予定であり、現在編集作業中である。

・調査の結果、16-17世紀の状況を捉えることができる史料として、宗教問答書、神秘主義詩歌、ジャワにおける聖人の伝承文学、ジャワ外のイスラーム世界の聖者伝承文学などの存在が明らかになった。特に、宗教問答書 *The Admonitions of Seh Bari* では16世紀の段階ですでにジャワで難解な *Wahdat al-Wujud*（存在一性論）批判の議論が展開されていることが示されており、これまで東南アジアではイスラーム先進地域のアチェでの17世紀の議論が最も早いとみなされてきたが、実はジャワにすでに神学的議論がインドの影響によりもたらされていたことがわかった。しかも、そこでは強烈的なイブン・アラビー批判が展開されていながらも、その思想に対する深い理解も表されており、内容は神秘主義というよりも、道徳的神学議論となっていた。このテキストは、ジャワにイスラームを広めたと信じられている聖者たちの中の中心的存在であったスナン・ボナンと彼の弟子との問答であると考えられている。その真偽を証明する手段は存在しないが、マタラム国家側が残す *Babad Tanah Jawi*（『ジャワ国縁起』）や聖者伝承文学での聖者たちの描かれ方とはかなり異なっていることが明らかになった。イスラーム化過程について、さらに詳細な分析を進めるためには、イスラームを取り込もうとする新興国家側の戦略について、宮廷文献の調査を続けて進める必要がある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計37件（うち査読付論文 7件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 青山亨	4. 巻 -
2. 論文標題 「地震は神の徴か イスラームの信仰と災害」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『天変地異はどう語られてきた』	6. 最初と最後の頁 60-85
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青山亨	4. 巻 -
2. 論文標題 「プランバナン寺院ラーマヤナ浮彫が語る「死」の諸相 テキスト伝承との比較から」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『アジア仏教美術論集 東南アジア』	6. 最初と最後の頁 113-137
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 深見純生	4. 巻 -
2. 論文標題 「沸騰する南海北山 スルタンの出番か」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『天変地異はどう語られてきた』	6. 最初と最後の頁 136-165
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 深見純生	4. 巻 10
2. 論文標題 「ババッド・タナ・ジャウィ研究序説」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『人間文化研究』	6. 最初と最後の頁 175-208
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 深見純生	4. 巻 -
2. 論文標題 「7世紀の東西回廊を行く 玄奘・那提・義浄」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『アジア仏教美術論集 東南アジア』	6. 最初と最後の頁 63-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原由美	4. 巻 79(1)
2. 論文標題 「東南アジアにおけるイスラームの展開とキターブ文献の成立」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『史苑』	6. 最初と最後の頁 97-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tonaga Yasushi	4. 巻 3
2. 論文標題 The General Propensity of Islamic and Sufi Studies in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Islamic and Sufi Studies in Academia: Rethinking Methodologies (Kyoto Kenan Rifai Sufi Studies Series 3)	6. 最初と最後の頁 3-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Willem van der Molen	4. 巻 21(1)
2. 論文標題 "The ideal match. Views on marriage in the Panji Paniba (1816)"	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Wacana	6. 最初と最後の頁 36-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Willem van der Molen	4. 巻 -
2. 論文標題 "Two generations, two views. Arjuna in the Old Javanese literature"	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Tuhan & alam (Membaca ulang gagasan Pantheisme - Tantrayana dalam kakawin dan manuskripmanuskrip kuno Nusantara)	6. 最初と最後の頁 102-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原由美	4. 巻 -
2. 論文標題 「出版とオランダ領東インドのイスラーム化 - インドネシア近代史叙述とイスラーム・アイデンティティ」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 小泉順子編『歴史の生成』京都大学出版会	6. 最初と最後の頁 223-252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yumi Sugahara	4. 巻 -
2. 論文標題 "Islam and the National History of Indonesia"	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia (Vol.2): Perspectives from Indonesia, Malaysia, the Philippines, Thailand, and Cambodia, edited by Ikuya Tokoro. ILCAA.	6. 最初と最後の頁 15-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aoyama Toru	4. 巻 -
2. 論文標題 "Social Integration in Majapahit as Seen in an Old Javanese Court Narrative. State Formation and Social Integration"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Pre-modern South and Southeast Asia: A Comparative Study of Asian Society, edited by Karashima Noboru and Hirotsue Masashi	6. 最初と最後の頁 165-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishino Noriko, Aoyama Toru, Kimura Jun, Nogami Takenori, and Le Thi Lien	4. 巻 5-2
2. 論文標題 "Nishimura Masanari's Study of the Earliest Known Shipwreck Found in Vietnam"	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Asian Review of World Histories	6. 最初と最後の頁 106-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青山亨・増井美佳共訳	4. 巻 23
2. 論文標題 「ブルボチャロコ著『古典ジャワ文学史入門』(4)」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『東京外大東南アジア学』	6. 最初と最後の頁 108-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toru Aoyama	4. 巻 -
2. 論文標題 "The significance of moksa in the Ramayana reliefs in the light of Old Javanese texts"	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transformation of religions as reflected in Javanese texts, edited by Yumi Sugahara and Willem van der Molen. ILCAA, Tokyo University of Foreign Studies	6. 最初と最後の頁 16-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Koji Miyazaki	4. 巻 -
2. 論文標題 "Javanese calendar and myth: Wuku and story of Watu Gunung"	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transformation of religions as reflected in Javanese texts, edited by Yumi Sugahara and Willem van der Molen. ILCAA, Tokyo University of Foreign Studies	6. 最初と最後の頁 54-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 深見純生	4. 巻 43-1
2. 論文標題 『ババッド・タナ・ジャウイ』におけるムラピ山 精霊と火砕流	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『桃山学院大学総合研究所紀要』	6. 最初と最後の頁 101-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 モケット著 向正樹訳・補論 深見純生監訳	4. 巻 15
2. 論文標題 「モケット著『ジャワ最古のイスラム碑文』翻訳と補論 イスラム碑銘学・海域史の視点から」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『アラブ・イスラム研究』	6. 最初と最後の頁 45-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasushi Tonaga	4. 巻 -
2. 論文標題 “ ‘Ambiguity in Context’ according to Islamic Thought: Bridging Theory and Actuality in Relating to Saints in Islam ”	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Pilgrimage and Ambiguity Sharing the Sacred. Thierry Zarcone & Angela Hobart eds. Sean Kingston Publishing	6. 最初と最後の頁 69-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菅原由美	4. 巻 24
2. 論文標題 「インドネシア国史とイスラーム」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『Ex Oriente』	6. 最初と最後の頁 1-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青山亨・増井美佳共訳	4. 巻 22
2. 論文標題 「ブルボチャロコ著『古典ジャワ文学史入門』(3)」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『東京外大 東南アジア学』	6. 最初と最後の頁 48-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青山亨	4. 巻 -
2. 論文標題 「インド化」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 パリー学仏教文化学会・上座仏教事典編集委員会編『上座仏教事典』めこん	6. 最初と最後の頁 168-169, 686
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青山亨	4. 巻 -
2. 論文標題 「繁栄するジャワの王国の記録：デーシャワルナナ」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 池田嘉郎・上野慎也・村上 衛・森本一夫(編)『名著で読む世界史120』山川出版社	6. 最初と最後の頁 228-230, 368
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 TONAGA, Yasushi	4. 巻 -
2. 論文標題 Fact or Fiction? : The Images of the Sufi Authors in 10th-12th Century	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 History, Literature and Scholarly Perspectives South as West Asian Context: Festschrift Presented in Honor of Moinuddin Aqeel, Karachi: The Islamic Research Academy	6. 最初と最後の頁 77-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 東長靖	4. 巻 55-1
2. 論文標題 「ファナーの観点からスーフイズムを見直す」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『東洋哲学研究』	6. 最初と最後の頁 229-254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 深見純生訳	4. 巻 5
2. 論文標題 「ババッド・タナ・ジャウィ(10)第五部ババッド・マタラム4」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『人間文化研究』	6. 最初と最後の頁 99-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 深見純生	4. 巻 54-1
2. 論文標題 「<書評>石澤良昭著『新 古代カンボジア史研究』」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『東南アジア研究』	6. 最初と最後の頁 127-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山根総	4. 巻 -
2. 論文標題 「現代ウルドゥー詩におけるパレスチナ問題 南アジアのムスリムにみられる「向心性」について」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 小林寧子編『アジアのムスリムと近代(3) 植民地末期の出版物から見た思想状況』	6. 最初と最後の頁 29-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計60件（うち招待講演 18件 / うち国際学会 33件）

1. 発表者名 青山亨
2. 発表標題 「ジャワにおけるシャカ暦 インド化とイスラーム化をつなぐもの」
3. 学会等名 東洋学・アジア研究連絡協議会シンポジウム「近未来の東洋学・アジア研究 王権・元号・暦」, 東京大学 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toru Aoyama
2. 発表標題 "Sebuah Perjalanan Tekstual Pangeran Sutasoma: dari Teks Buddhis ke Kakawin Sutasoma"
3. 学会等名 8th Borobudur Writers & Cultural Festival 2019, Magelang, Indonesia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toru Aoyama
2. 発表標題 "Five cases of 'death' in the Dandaka forest: Revisiting the Ramayana reliefs in Candi Prambanan, Malang, Indonesia"
3. 学会等名 Simposium Internasional Bahasa dan Sastra Jawa Kuno, Malang, Indonesia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toru Aoyama
2. 発表標題 "Two Perceptions of Royal Response to the Introduction of Islam in Malay and Javanese Literary Narratives"
3. 学会等名 The 11th International Convention of Asia Scholars (ICAS11), Leiden, the Netherlands (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wiilem van der Molen
2. 発表標題 "The ideal match. Views on marriage in the Panji Paniba (1816)"
3. 学会等名 Java in Jerusalem. New directions in the study of Javanese literature and culture, Hebrew University, Israel (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wiilem van der Molen
2. 発表標題 "Save Java. Reading the Panji Paniba (1816)"
3. 学会等名 The 11th International Convention of Asia Scholars (ICAS11), Leiden, the Netherlands (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wiilem van der Molen
2. 発表標題 "Chinezen, Javanen en Europeanen. De ervaringen van Ko Ho Sing (1825-1890)"
3. 学会等名 Symposium of the Indische Letteren 'De Indonesische stem', Bronbeek (Arnhem), the Netherlands (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wiilem van der Molen
2. 発表標題 "Dendam dan kaul dalam Wangbang Wideya"
3. 学会等名 International symposium on the Old Javanese language and literature 'Sancaya sari. Untaian adikarya Stuart Robson' (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wilem van der Molen
2. 発表標題 "Citra Arjuna di zaman kuno. Pandangan dua angkatan"
3. 学会等名 8th Borobudur Writers and Creative Festival (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wiilem van der Molen
2. 発表標題 "Java and foreign interventions. Perceptions of Javanese sovereignty based on the early 19th-century Panji Paniba (1816)"
3. 学会等名 Cleveringa Lecture, Erasmushuis, Jakarta, Indonesia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wiilem van der Molen
2. 発表標題 "The advance of Javanese literary studies. Advices from 1816"
3. 学会等名 Farewell address delivered at the symposium 'Towards a history of Javanese literature', Leiden, the Netherlands (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅原由美
2. 発表標題 「ババッド・タナ・ジャウィとワリ・ソング」
3. 学会等名 アジア・アフリカ言語文化研究所共同利用・共同研究課題「ジャワ語及び東南アジア諸語テキストにみる宗教変容 - イスラーム化過程における戦略と役割」2019年度第3回研究会, アジア・アフリカ言語文化研究所
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yumi Sugahara
2. 発表標題 "Paradise and hell: Daqa' iq al-Akhbar translated for the Malay world"
3. 学会等名 Workshop on Comparative Study of Southeast Asian Kitabs: Concepts of the Hereafter, Sophia University, Tokyo (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yumi Sugahara
2. 発表標題 "Balance between Islam and politics reflected in Babad Dipanegara"
3. 学会等名 Farewell symposium for Willem van der Molen upon his retirement from KITLV "Towards a History of Javanese Literature", Leiden, the Netherlands (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yumi Sugahara
2. 発表標題 "Sunan Bonang's teaching: Theology and Sufism in 16th century Java"
3. 学会等名 The 11th International Convention of Asia Scholars (ICAS11), Leiden, the Netherlands (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yumi Sugahara
2. 発表標題 "Sunan Bonan's teaching: Theology and Sufism in 16th Java"
3. 学会等名 International Conference "Java in Jerusalem: New Directions in the Study of Javanese Literature and Culture", Hebrew University, Israel (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yumi Sugahara
2. 発表標題 “Sunan Bonan ' s teaching: Theology and Sufism in 16th Java ”
3. 学会等名 International Symposium “Transformation of Religion as Reflected in Javanese Texts (2) Rethinking the Process of Islamization” (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yumi Sugahara
2. 発表標題 “ The Admonitions of Seh Bari ”
3. 学会等名 Research Group “New Directions in the Study of Javanese Literature: Reassessing ideas, methods and theories in the study of the literature of Java, Indonesia” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 深見純生
2. 発表標題 「ラムリとサムドゥラに関するノート 初期イスラム化との関連で」
3. 学会等名 アジア・アフリカ言語文化研究所共同利用・共同研究課題「ジャワ語及び東南アジア諸語テキストにみる宗教変容 - イスラーム化過程における戦略と役割」2019年度第3回研究会, アジア・アフリカ言語文化研究所
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Toru Aoyama
2. 発表標題 “ Imaginary of the seafaring ship in the process of Islamization in Java ”
3. 学会等名 International Symposium “Transformation of Religion as Reflected in Javanese Texts (2) Rethinking the Process of Islamization” (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 深見純生
2. 発表標題 ベンガル湾の出入り口としてのラムリとクダ
3. 学会等名 東南アジア古代史研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 深見純生
2. 発表標題 「10～14世紀海域東南アジア史研究をふりかえる」
3. 学会等名 東南アジア古代史研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasushi Tonaga
2. 発表標題 Theoretical Basis for the Visit to the Saints' Places in the Islamic Thought
3. 学会等名 5th World Congress of Middle Eastern Studies (WOCMES)2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasushi Tonaga
2. 発表標題 The Choice of Languages in the Ottoman Sufism
3. 学会等名 The 2nd. International Conference of The Asian Federation of Mediterranean Studies Institutes(AFOMEDI) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Willem van der Molen
2. 発表標題 "Religious change in Java as reflected in the Suluk Panepen"
3. 学会等名 International Symposium "Transformation of Religion as Reflected in Javanese Texts (2) Rethinking the Process of Islamization" (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oman Fathurahman
2. 発表標題 "The Javanese-influenced Islamic manuscripts in the Malay speaking area of the Philippines: Southeast Asian Muslim mobility?"
3. 学会等名 International Symposium "Transformation of Religion as Reflected in Javanese Texts (2) Rethinking the Process of Islamization" (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Edwin Wieringa
2. 発表標題 "Not by the sword? Some notes on the contemporary sanitized myth of Java's early Islamisation"
3. 学会等名 International Symposium "Transformation of Religion as Reflected in Javanese Texts (2) Rethinking the Process of Islamization" (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 菅原由美
2. 発表標題 「スナン・ボナンの教え」
3. 学会等名 科研B「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」第三回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 青山亨
2. 発表標題 「東南アジアにおけるイスラーム受容をめぐる現地認識」
3. 学会等名 科研B「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」第一回研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 青山亨
2. 発表標題 「スルック（ジャワ語スーフィー詩）に見られる船の比喩）」
3. 学会等名 科研B「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」第三回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 深見純生
2. 発表標題 「イスラーム化初期の史跡 マジャパヒトからマタラムへ」
3. 学会等名 科研B「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」第一回研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山根聡
2. 発表標題 "Dual Trends of Sufi Poetry Qawwali in South Asia"
3. 学会等名 Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山根聡
2. 発表標題 「南アジア・イスラーム研究の動向と将来 『加賀谷寛著作集』を通して」
3. 学会等名 一般社団法人日本オリエント学会第317回公開講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山根聡
2. 発表標題 「パキスタンにおける国家の正統性と宗教」
3. 学会等名 2017年度MINDAS合同研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山根聡
2. 発表標題 「現代パキスタン社会の動員にみる政治と宗教」
3. 学会等名 2017年RINDAS第2回研究会・KIAS「中道派」研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山根聡
2. 発表標題 「南アジアにおけるスーフィーの役割」
3. 学会等名 科研B「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」第三回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tonaga Yasushi
2. 発表標題 “ Three-Axis Framework of Sufism: Toward the Interdisciplinary Approach, ”
3. 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: “ Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies ” (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tonaga Yasushi
2. 発表標題 “ General Trend of Islamic and Sufi Studies in Japan, ”
3. 学会等名 The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: “ Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies ” (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tonaga Yasushi
2. 発表標題 “ Potentiality of Sufism in the Contemporary Period, ”
3. 学会等名 2017 KAMES International Conference, “ Seeking Harmony and Prosperity for the Middle East in the Era of Uncertainty, ” (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 東長靖
2. 発表標題 「 スーフィズムの三極構造再考 」
3. 学会等名 科研：基盤A「 イスラーム神秘主義の構造的な理解 - スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合現象の解明 」研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 東長靖
2. 発表標題 「近現代スーフィズムの4象限説」
3. 学会等名 科研B「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」第三回研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 SUGAHARA, Yumi & AOYAMA, Toru
2. 発表標題 Introducing Javanese Documents Online (JVDO)
3. 学会等名 Simposium Internasional ke 16 Masyarakat Pernaskahan Nusantara (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菅原由美
2. 発表標題 ジャワのイスラム史研究－研究史と史料
3. 学会等名 AA研共同利用・共同研究課題「ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容(2) ジャワのイスラーム化再考」第二回研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菅原由美
2. 発表標題 ジャワの九聖人伝承
3. 学会等名 AA研共同利用・共同研究課題「ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容(2) ジャワのイスラーム化再考」第三回研究会、科研費基盤研究(B)「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」研究会共催
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 菅原由美
2. 発表標題 19世紀ジャワ語出版キターブとガザリー -Soleh Darat 著Munjiyat puthikan saking Ihya Ulum al-Dinを中心に
3. 学会等名 上智大学アジア文化研究所アジア研究セミナー「東南アジアのキターブ比較研究」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮崎恒二
2. 発表標題 史資料の救出・保存とその活用 - インドネシアでの経験から -
3. 学会等名 日本アーカイブズ学会2016年度大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 東長靖
2. 発表標題 平和・愛・共存を求めるイスラームのもうひとつの顔
3. 学会等名 京都大学春秋講義「宗教と平和」第3回
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 TONAGA, Yasushi
2. 発表標題 Towards the Asian Network of Sufi Studies: From the Japanese Experience
3. 学会等名 the 11th AFMA (Asian Federation of Middle East Studies Associations) Conference (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 東長靖
2. 発表標題 スーフィズムの三極構造論 - スーフィズムの立場から
3. 学会等名 スーフィズム・聖者信仰研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 TONAGA, Yasushi
2. 発表標題 Past, Present and Future of Sufi Studies in Japan: Three-Axis Framework of Sufism and Interdisciplinary Approach
3. 学会等名 Opening Symposium of the Education Program for Sufi Culture, "The Bridge of Two Easts" (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 東長靖
2. 発表標題 スーフィズム・タリーカ・聖者信仰複合と東南アジア・イスラーム
3. 学会等名 AA研共同利用・共同研究課題「ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容(2) ジャワのイスラーム化再考」第三回研究会、科研費基盤研究(B)「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」研究会共催
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 深見純生
2. 発表標題 用語解説の例示
3. 学会等名 東南アジア学会第95回研究大会パネル「高校世界史における東南アジア関係用語の厳選 その3」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 深見純生・田畑幸嗣
2. 発表標題 東南アジア古代史（7～10世紀）ウェブ版詳細年表の公表と今後の利用
3. 学会等名 東南アジア学会関東例会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山根総
2. 発表標題 南アジアのムスリム域外ネットワーク形成について
3. 学会等名 AA研共同利用・共同研究課題「ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容（2）ジャワのイスラーム化再考」第二回研究会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山根総
2. 発表標題 9.11から15年 中東の混迷と『イスラム国』
3. 学会等名 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所中東イスラーム研究拠点（人間文化研究機構『現代中東地域研究』）（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 YAMANE, So
2. 発表標題 Jadid Urdu Adab ke Farogh men Ahmad Nadim Qasmi ki Khidmat (in Urdu) (現代ウルドゥー文学におけるアフマド・ナディーム・カースミーの貢献)(ウルドゥー語)
3. 学会等名 International Urdu Literature Conference, "Memory of the 100th Birth Year of Ahmed Nadeem Qasmi" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 YAMANE, So
2. 発表標題 Social and Political Modification in Pakistan in the War on Terror
3. 学会等名 International Conference "Reconstructing State Security and National Integration in the Middle East" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 YAMANE, So
2. 発表標題 The Taste of Colonization: A Dilemma between Tradition and Modernity among Indo-Muslims under the British Raj in Nadhir Ahmad's Ibn al-Waqt
3. 学会等名 Cookbooks and Culinary Practices"Food, Body and Identity in India from Medieval to Contemporary Times " International onference supported by ICSSR(India)-JSPS(Japan) Bilateral Programme (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Oman FATHURAHMAN
2. 発表標題 Female Indonesian Sufis: with Special Reference to Java in the 18th and 19th Centuries
3. 学会等名 AA研共同利用・共同研究課題「ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容(2) ジャワのイスラーム化再考」第四回研究会、科研費基盤研究(B)「ジャワ語文献にみるジャワのイスラーム化再考」研究会共催(国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 TONAGA Yasushi and FUJII Chiaki eds	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Kyoto Kenan Rifai Center for Sufi Studies	5. 総ページ数 xiii+375
3. 書名 Islamic and Sufi Studies in Academia: Rethinking Methodologies (Kyoto Kenan Rifai Sufi Studies Series 3)	

1. 著者名 菅原由美・Yosephin Apriastuti Rahayu	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	5. 総ページ数 118p
3. 書名 『平成29年度言語研修ジャワ語初級テキスト ジャワ語の基礎』	

1. 著者名 Willem van der Molen & Yumi Sugahara eds.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ILCAA, Tokyo University of Foreign Studies	5. 総ページ数 xi + 182p
3. 書名 Transformation of religions as reflected in Javanese texts. Javanese studies series 5	

1. 著者名 TONAGA Yasushi ed.	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Kenan Rifai Center for Sufi Studies	5. 総ページ数 vi + 105p
3. 書名 The Bridge of Cultures: Potentiality of Sufism	

1. 著者名 TONAGA, Yasushi	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Kyoto University	5. 総ページ数 xxvi+126
3. 書名 Bibliography of Sufism, Tariqa, and Saint Cult Studies in Japan (『日本におけるスーフィズム・・タリーカ・聖者信仰研究文献目録』)	

〔産業財産権〕

[その他]

Javanese Documents Online
<https://jvdo.aa-ken.jp/index.html>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	青山 亨 (Aoyama Toru) (90274810)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授 (12603)	
研究分担者	宮崎 恒二 (Miyazaki Koji) (40174156)	東京外国語大学・その他部局等・名誉教授 (12603)	
連携研究者	深見 純生 (Fukami Sumio) (40144555)	桃山学院大学・国際教養学部・非常勤講師 (34426)	
連携研究者	東長 靖 (Tonaga Yasushi) (70217462)	京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授 (14301)	
連携研究者	山根 聡 (Yamane So) (80283836)	大阪大学・言語文化研究科・教授 (14401)	